



2025年 春号

特定非営利活動法人
せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-40-7アルティマ101
TEL/FAX 022-375-3548 HP <http://senmori.org/>

2025年4月発行

榴岡はどのようにして子どもたちを育むのか

榴岡の春は百花繚乱、鮮やかな花々と共に在ります。街を歩けばそこかしこに花の色が目に飛び込んでいます。春の花は移り変わりも早く、ほんの数日で目に入る花の色が移り変わっていきます。仕事に向う人、通学に自転車を走らせる人、幼稚園のバスを待つ親子、そして小中学生の通学を見守る人々。挨拶を交わし合う人と花の色との記憶が生き生きとよみがえります。

榴岡小学校に着任して3年間。たくさんの子どもたちに出会うことができ、保護者の皆様、地域の皆様、町内会連合会や関係7団体の皆様など、本当にたくさんの方々にお世話になりました。この学校に赴任の内示を受けた時の緊張感の原因は何であったのか、改めて考えてみました。

それは東北唯一の政令市中心部に位置する学校であり、歴史と伝統を有し、人口増加に伴う学校規模が大きな学校であること、これまで様々な表彰を受け、仙台市の教育施策を先進的に実践してきたこと。それらのことと共に、近年「イーストゲートウェイ」とも呼ばれる駅東榴岡のこれまでに経験したことのない「熱気」に圧倒されるような気持ちだったのかもしれません。

この小学校を一つのロールモデルとして見たときに考えなければならないこと。それは「地域はどのようにして子どもたちを育むのか」という問い合わせではないでしょうか。仙台市の小学校長だけでなく、宮城県、いや日本中の校長は口を揃えて「うちの学校は地域のみなさんが協力的だ。」と言います。しかし、「地域が学校と一緒に子どもたちを育てている」と言う校長がいるでしょうか？

榴岡小学校はそこに特別感がある学校なのです。コミュニティ・スクールの一つの在り方として、学校運営に直結する熟議を行う学校が成り立つ要因もあります。子どもを育てるのは第一義的に保護者であり、学校はその責務を自認しています。私は榴岡小学校の教育活動の目的を「子どもたちの将来的な社会的自立」としてきました。

そこに榴岡小の教育活動を一緒になって取り組んでくださった皆さんと同じ方向を向いて、同じ目的に向かってくださったのです。

国が学校と地域との関係を施策として打ち出してきたのが「学校支援地域本部事業」です。仙台市では平成20年度に小学校3校を指定し、その一つとして榴岡小学校学校支援地域本部が立ち上げられました。そこから令和4年に「仙台版コミュニティ・スクール」となるまでの14年間に「榴岡の子どもたちを、地域も児童館も学校も一緒に育てていく」基盤をしっかりと作ってきたのです。命題であった「学校支援」とは「共に子どもを育てる」と腰を据えて体制構築に尽力された方々がいたことが、仙台市随一のエネルギー、「熱」を持つ榴岡小学校をつくってきたのだと言えるのではないでしょうか。榴岡小学校は「学校支援」＝「共に子どもを育てる」基盤の上に、学校運営を地域・保護者と一緒に考えるコミュニティ・スクールになったのです。

一つの例が「地域公開セミナー」です。今、目の前の子どもたちに必要なことを地域・保護者が一緒に学ぶ機会がある学校なのです。子どもが自分にとって大切なことを学び、保護者も地域も同じことを理解しようとする。そして、大人は子どものために何ができるのかを考え実践しようとするのです。その「熱」は広がりを見せ、4年生の「弟子入り留学」を中心に、地域の大人から地域のことを学ぶ活動、人の生き方やまちの歴史を学ぶ活動が各学年で展開されています。その中で、子どもたちは榴岡の「熱」をその体内に取り入れて育っていくのです。そして地域と学校とで子どもたちを育していくのが「榴岡」なのです。

巻頭文「榴岡はどのようにして子どもたちを育むのか」

多賀野修久	1
ライヴ＆トーク！2nd 報告	2
ライヴ＆トーク！3rd 開催案内・イラスト紹介	3
ママパパライン仙台	4,5
2025年事業予定・せんだい杜の子ども劇場理事会体制	6
児童館★NEWS・新年度職員紹介（榴岡・新田）	7
事務局より・ピックアップ	8



「ライヴ&トーク! 2nd」を 開催しました

日時：2025年1月11日（土）14:00～15:30
会場：エルパーク仙台スタジオホール
参加人数：88名（参加無料）

年が開けて間もなく行われた企画でしたが、88名の親子が参加しました。一般社団法人ミュージックプロデュース MHKSさんとの共催で2ndとした今回は乳幼児～学童期の親子をメインターゲットに、ワクワクして楽しい手遊びも挟まるようなコンサートを、と企画しました。

前半は子どもや親子に向けたコンサートを多く公演しているマリンピアさんをお迎えし、運動会などで耳なじみのあるクラシック曲のほか、人気のアニメソングがぎゅっと詰まったオリジナルメドレーなど盛り上がる演

奏で参加親子を楽しませてくれました。

後半のフリートークでは、生の演奏会がもっと参加しやすくするためには、また行きやすいコンサートが増えるためには、どう連携したらできそうかといったテーマで参加者＆演奏者ともに意見を交わしました。発言には家の近くや市民センターなど親しみのある会場でという意見や本物の楽器を間近に見れたらいい等がありました。アーティスト本人が子ども時代の楽器練習を振り返る場面やピアノを習っている子ども自身が発言する場面など、フリートークは多くの年齢層で意見を交わす場になりました。



アンケートご感想（一部）

- とても楽しい心地良い時間でした。
息子も楽しく聴いていました。
- ありがとうございました。
子供はマリンバの音を気に入ったようでした。明るい音・弾ける音が楽しい気分にさせるのだと感じました。大人からみると、4本のマレットを操り演奏するスタイルは驚きました！！何しろ初めてでしたので・・・。
- 子育てをしているとなかなかコンサートに行くことができないので久しぶりに生演奏を聴けて楽しめました。座席の前にカーペットのスペースがあるのが良いなと思いました。もう少し子供の知っているアニメの曲や童話が多いとあきずに楽しめて良い

かなと思います。最後のメドレーとても楽しかったです。

- 保育所では12:30-15:00はお昼寝時間です。この時間とかぶらないと、子供がもっと、ぐずりが少なかったと思う。無料の親子イベントありがとうございます。





3回目となる「ライヴ&トーク！3rd」は、言葉と音楽を親子で楽しむイベントです。

前半に読み聞かせとシーンごとの生演奏を、
後半は演奏者と来場者が一緒にフリートークを行います。

申込こちら



ファミリーで参加大歓迎！

日 時 2025年5月17日（土）

開場13:40 開演14:00

会 場 のびすく泉中央4階ホール
(仙台市泉区泉中央1丁目8番6号)

読み聞かせ 上島 奈津子 かみじま なつこ（朗読）

演 奏 浅野 裕里香 あさの ゆりか（ヴァイオリン）
千葉 展子 ちば ひろこ（フルート）
ハ巻 梓 やまき あずさ（スピネット）

司会進行 田原さえ たはら さえ（ピアニスト）



主催：一般社団法人ミュージックプロデュースMHKS
共催：特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場

表紙イラストを描いてくれました！



【イラスト作者紹介】

いのうえ しおりさん
小学校1年生

★好きな食べ物
からあげが好きです。

★好きな色
うすピンクが好きです。
★マイブーム
なわとびにハマっています。





はい
ママパパライン仙台です



みやぎチャレンジプロジェクト募金のご協力ありがとうございました

宮城県共同募金会が行う社会課題解決「みやぎチャレンジプロジェクト」にエントリーし、昨年12月から今年2月までの3ヶ月間、「ママパパライン仙台の活動」に寄付の協力を募りました。

会員そして支援者の皆様がご家族や知り合いに声をかけてくださいり、44名様から募金を頂戴いたしました。この募金額に宮城県共同募金会からの

助成額が加わります。確定金額がまだ決まっていませんが、この助成金と法人事業費でR.7年度（R.7年4月～R.8年3月）のママパパライン仙台の常設事業と広報活動および研修・講座を行うことが出来ます。募金者を広げるための工夫には課題がありますが、皆様からの熱い思いを受け止め、有効に活用させていただきます。

《募金を寄せていただいた皆さま》（公表同意をいただいた方、敬称略）

有坂紀美江、伊藤通子、岩住辰也、江刺昌子、大沼洋子、小崎雅美、音羽裕子、黒澤哲、小玉順子、児玉陽子、斎藤純子、斎藤礼子、佐々木仁、佐藤和枝、鈴木智可、須田光昭、関根由紀、曾根恵美子、角田三知代、照井和子、照井嘉博、遠谷幸恵、中野基子、名取満智恵、橋本潤子、水原康子、八尾坂裕子、横井ひろみ、吉澤みはる、渡邊ひろ子 他14名の皆さま

皆さま ありがとうございました

『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン』の贈呈がありました

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、イオングループが地域への社会貢献として行っています。毎月11日に開催する「イオン・デー」では、地域で活躍している「ボランティア団体」などに向けてお客様とともにその活動を応援するために物品助成をしています。

毎月11日に貢物したお客様は、清算時にレジで黄色いレシートを受け取ります。

お客様は黄色いレシートを投函BOXへ。BOXは地域のボランティア団体ごとに仕切られ、活動内容が記されています。支援したい団体のBOXにレシートを入れます。

イオン各店が団体ごとに集計し、合計金額の1%相当の希望する物品を該当団体に贈呈します。

せん杜は「ザ・ビックエクスプレス将監店」様に登録しています。

4月7日に2024年度分として、33,700円分の贈呈がありました。ママパパライン仙台の活動で使用する物品に活用させていただきます。

皆さまありがとうございました



新しく受け手になられた方の思い

昨年ママパパライン電話受け手ボランティア養成講座を受講した方2名が、新しく受け手に加わりました。それぞれの思いをお聞きしましたので紹介します。

◇前回の受講時は、自分自身が体調不良で様々な相談機関に電話をしていた時期でした。

今回も講師の鈴木俊博氏は、相談するのはとても勇気がいる行動で「相談できる人は有能である」とおっしゃっており、前回もとても励まされた事を思い出し、少しでも今悩んでいる方々のお力になれたらと感じました。

多様性の時代と言われAIの普及も目覚しい世の中ですが、「誰かが聞いてくれ、誰かが知ってくれる事の意味」は人と繋がっている事であり、ママパパラインは「電話の向こうには生身の人間がいて自分の話を聞いてくれるという安心感」を与えられることが大切な役割としてあるように思います。「電話をしてきてくれてありがとう」と心から思っていただけるように対応していきたいです。M.Y

◇子育ては聞くのが9割で上手くいく。と聞いたことがあります。

私自身、子どもとのやり取りで質問攻めにしたり、子どもの一言に一喜一憂してしまい、最後にはお互いモヤモヤして終わることが度々あります。聞く技術を身につけたら、子どもとの関係が変わるものではないかと思いました。受講講座の中で処理できない思いを抱えたまま過ごすことがあると聞いて、不安にも思いました。しかし、傾聴ボランティアとして活動されている方に話を聴いてもらった時、私の中で暖かくやわらかい優しい気持ちが生まれました。それは時間が経っても消えることはなく、思い出すと感動が蘇ります。あの気持ちを自分の子どもだけでなく、出会う人たちにも届けたいと思い、活動に参加させていただくことにしました。T.Y

『ママパパライン運営スタッフ全国研修・交流会』が行われました

3月15日（土）全国7か所のママパパラインが集まる「ママパパライン運営スタッフ全国研修・交流会」が、東京の会場に11名とZoomで6名が参加し行われました。午前は「ママパパライン1年&キャンペーンのまとめの報告と課題」、午後からは「各ラインの研修会を学ぶ」と「課題解決へ（広報周知の手法研究）」について討議されました。

全国的に電話の件数もコロナ収束後、次第に減少傾向が見られている。又、かかって来る電話の子どもの年齢別に比べると、育休中のママからの電話は増えているが、幼児期になると職場復帰のためか（？）少なくなっていることも見えてくる。各地での研修も色々工夫して取組まれているが、仙台のように専属のスーパーバイザーがいて、毎月定期的に全員が集まって研修を行なっている所は少ないようです。広報周知についても、現在の若い親たちにとって電話をかけることが

ハードルが高いのでは？SNSが主流でラインやチャットなども今後の検討課題とすることが話し合われました。

◇仙台から参加したスタッフ（受け手）の感想。

大切にしたい言葉の中の「隣人愛」。受け手を始めて僅か一年の私ですが、各地での礎を築いていらっしゃられた方々と共に、其々の活動報告と新年度へ向けての協議へと、たいへん充実した時間でした。諸先輩の方々は、多くの経験を重ねてこられた言葉に満ちており、融和に溢れた術の中、これからも社会の誰の手をも離すことのない、粘り強さと柔らかな温かさを感じる会でした。変わりゆく時代に対応しながらも、同じ方向を目指し続ける活動。この活動は平面ではない丸みや円が広がり、この膨らみの中の一員として、静かに受け止め、目を開けていたいです。支えて下さる沢山の方々に感謝致します。自分が何を思い、何を感じたかを改めて知ることができた研修でした。K.Y



事業名	事業内容	実施予定
(1)芸術文化体験事業	① 杜の子まつりin仙台 ② バックヤードツアー (子どもの体験事業)	9月13日(土) 日立システムズホール (シアターホール)
(2)子育て支援事業	  ①ママパパライン仙台常設 • 全国キャンペーン ②「ママパパライン仙台」受け手養成講座 ③コンサートの開催 • 乳幼児や学童期親子向け	①毎週金曜日 10:00~16:00 ②11/24, 12/1, 12/8(実施済み) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">延べ111名受講</div>
(3)指定管理事業	①榴岡児童館の指定管理事業 ②新田児童館の指定管理事業	



代表理事	阿部 清人	副代表理事	新川 達郎
副代表理事	宮崎 雅行	副代表理事	大久保 潤
専務理事	齋藤 純子	理 事	有坂 紀美江
理 事	大久保 佳奈子	理 事	黒田 達也
理 事	小玉 順子	理 事	照井 和子
理 事	眞山 正太	理 事	山口 景子
監 事	金井 ユキ卫	監 事	小岩 孝子

事務局 職員

【法人事務局】

吉澤 みはる	事務局長	鈴木 舞	事務局次長
千葉 浩美	非常勤	船田 浩司	非常勤
谷田貝 泰子	非常勤		



仙台市児童館指定管理選定委員会を経て仙台市議会の承認をいただき、これから5年間の指定管理業務がスタートしました。4月1日より、榴岡児童館は5期19年目を、新田児童館は4期16年目を迎えた新たなステージに入りました。両児童館共に、地域の一員としての意識を持ち、開館以来掲げている児童館像である「子どもが主役！地域に根ざした子どものほっとステーション」の深化とインクルーシブ＆ワンストップの子育て支援を積み上げていく所存です。

☆☆☆『榴岡児童館＆新田児童館 R7年度重点目標』より☆☆☆

- ①異年齢の子どもたちが集う場を基本に、子ども同士が主体的にあそびを広げ、自他を認め合う子ども像を目指し、「子どもの参画」を進めていく。
- ②小学校・地区連合町内会をはじめとする地域諸団体と共に、子どもの育ちと子育て支援を行う。
- ③乳幼児から学齢期の子を持つ親が集う場をインクルーシブに進め、親同士の関係を醸成する。

榴岡・新田児童館の職員紹介

指定管理している
児童館の職員を
紹介させていただきます。

【榴岡児童館】

齋藤 純子	館長
小野 さおり	副館長
宮崎 雅行	主任兼室長
榎田 由美	常勤
鈴木 智可	常勤（特別支援コーディネーター）
大久保 潤	常勤
棄島 由香	常勤
樋野 空嶺	常勤
犬飼 和	常勤
島尾 美紀	常勤
菊地 まりあ	常勤
新田 典子	常勤
大川 洋介	常勤
藤本 まゆみ	非常勤
樋野 笑子	非常勤
若生 佳七子	非常勤
長澤 智加	非常勤
内藤 彩恵	非常勤
小長根 愛佳	非常勤
櫻井 真由	非常勤
遠藤 克真	非常勤
佐藤 典子	アルバイト
武田 千絵	アルバイト
堀 拓	アルバイト

どうぞよろしく
お願いします



【新田児童館】

大久保 佳奈子	館長
黒田 達也	副館長
三浦 のぞみ	主任
高橋 まゆみ	室長
浅野 楓子	常勤
小畠 由里恵	常勤
本田 陽菜子	常勤
須田 ももこ	常勤
大原 薫平	常勤
佐藤 晴香	常勤
吉田 達矢	常勤
高谷 希実	常勤
山田 由香	非常勤
三浦 ゆかり	非常勤
大友 康平	非常勤
日下 薫	非常勤
若生 哲雄	非常勤
加藤 美恵子	非常勤
佐藤 里子	非常勤
菱沼 京那	非常勤
小原 満愛	非常勤
吉澤 明美	アルバイト
熊谷 彩乃	アルバイト



サポート＆ご協力ありがとうございました！

(敬称略・順不同)

- ママパパライン■ 受け手の皆さん スーパーバイザー
■正会員■ (更新) 有坂紀美江、黒澤哲、合同会社Harmony、畠山みさ子、渡辺道代
■特別支援会員■ (入会) 永井花香里 (更新) 五十嵐俊江、大澤寛寿、奥山悠衣、菅野修
■支援会員■ (入会) 河内優子 (更新) 石川裕子、伊藤順子、猪股亮文、大沼洋子、
金井ユキエ、小松原裕子、佐藤久枝、栄佐紀、鈴木利子、高橋秀子、
太田美幸、江刺昌子、名取満智恵、松崎雅威、八尾坂裕子、山口哲男

春

ピックアップ情報

～4回目となる「田原さえの世界」仙台公演～
「田原さえの世界IV～めぐりめぐりて～」
数百年も前に生きていた作品と、そのメッセージ
である楽譜を通して作曲家と出会う奇跡。コン
サートでの、自分自身と演奏との、そしてお客さ
まとの一期一会…。(MHKS HPより一部抜粋)
時を超えためぐりあわせをこのリサイタルで。

- ◆日時：4月23日（水）18時半開演
(17時45分開場)
ベートーヴェン／ピアソナタ Op.10-3・ラフマニノフ／コレ
ルリの主題による変奏曲 Op.42・ドビュッシー／映像第1集・
ショパン／前奏曲《雨だれ》Op.28-15、バラード Op.23
◆会場：太白区文化センター・楽楽楽ホール
◆入場料：一般 3500円・大学生以下 2000円
中学生以下 1,500円
※一般・大学生以下 当日券500円増
◆主催：仙台バッハゼミナール
◆協力：(一社)ミュージックプロデュースMHKS、
藤崎
◆プレイガイド：藤崎、カワイ仙台
◆チケット・お問合せ：MHKS /電話：070-
6625-9244 / E-メール：info@mhks.jp



子育て応援ダイヤル
★ママパパライン仙台★
☎ 022-773-9140
毎週金曜日10時～16時

ピックアップ情報

～1964年宮城県で誕生した
「民族歌舞団ほうねん座」
創立60周年記念仙台公演」
ほうねん座は昨年で創立60周年。
感謝をたくさん込めた「お祭り舞台」の
公演を行います。



- ◆日時：5月10日(土)19時開演
5月11日(日)14時開演
※共に30分前開場 ※上演90分(10分休憩)
◆第一部：「お祭り舞台」祭り囃子、日本の唄等
第二部：「ほうねん座舞台」創作和太鼓曲等
◆会場：宮城野区文化センターPATONシアター
◆チケット：一般3000円、高校生以下1500円
膝上抱っこで2歳まで無料、当日券500円増
記念グッズ付きチケットもあります。
◆申込：・ほうねん座ホームページ
<https://www.hounenza.com/>
・ほうねん座TEL：022-399-2842
・せん杜事務局でもチケットお取り扱いし
ています！お気軽にお問合せください。

◆主催：ほうねん座仙台公演実行委員会

発行：特定非営利活動法人 **せんだい杜の子ども劇場**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-40-7 アルティマ 101
TEL/FAX 022-375-3548
HP <http://senmori.org/>
E-mail office@senmori.org

